

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	チーム医療概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301
担 当 教 員	高田 秀志	実務経験とその関連資格	理学療法士として、回復期病院や訪問リハ、デイサービスでの実務経験あり。 また、島根大学大学院で、地域包括ケアシステムについて学び、医科学修士を修了。			
《授業科目における学習内容》						
チーム医療の定義や目的を知り、多職種連携における理学療法士の役割や責任、連携について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
授業態度、課題レポートの総合評価とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
理学療法概説、地域理学療法学 他 医学書院 OWL-P						
《授業外における学習方法》						
事前に配布プリントや教科書を読んでおく。また、授業後には復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書等の忘れ物に注意し、課題の提出期限も厳守すること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	定義、目的、効果などについて説明できる		テキスト、配布資料	
		各コマにおける授業予定	チーム医療とは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床におけるチーム医療の倫理について説明できる		テキスト、配布資料	
		各コマにおける授業予定	チーム医療倫理			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療における問題解決型コミュニケーションやチーム医療におけるコミュニケーションの必要性について説明できる		テキスト、配布資料	
		各コマにおける授業予定	チーム医療におけるコミュニケーション			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際(栄養サポート)について説明できる		テキスト、配布資料	
		各コマにおける授業予定	チーム医療の実際(栄養サポート)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際(緩和ケア)について説明できる		テキスト、配布資料	
		各コマにおける授業予定	チーム医療の実際(緩和ケア)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際(褥瘡対策)について説明できる	テキスト、配布資料	
		各コマにおける授業予定	チーム医療の実際(褥瘡対策)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際(呼吸ケア)について説明できる	テキスト、配布資料	
		各コマにおける授業予定	チーム医療の実際(呼吸ケア)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の実際(在宅医療)について説明できる	テキスト、配布資料	
		各コマにおける授業予定	チーム医療の実際(在宅医療)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			